

久保修 紙のジャポニスム 切り絵の世界展

2016. 9.26^{mon}
|
10.20^{tue}

平成記念美術館 ギャラリー

open 10:00 close 18:00

休館日:日曜日 / 観覧無料 / 主催:株式会社 平成建設

久保修の切り絵は、質感や立体感、遠近感を感じさせ、線の太さによっても光と影を表現しています。描いた絵を和紙と重ねてアートナイフで切り抜いて制作しますが、残った黒い線が全てつながっているのが大きな特徴です。紙を切って表現するという、絵を描くよりも制約の多い制作の中で、その不自由さを魅力に昇華させています。和紙には日本の心が息づきます。色の部分は、日本絵の具などを混ぜ合わせて和紙を染めます。それを、切り抜かれた絵の黒い線の枠の各部分に裏から貼付けて、それぞれの作品を仕上げています。古くからの切り絵技法にプラスして様々な手法を取り入れた、久保修独自の絵画的な切り絵作品は、海外でも高く評価されています。



「引き鮭」

久保修
Shiro Kubo

紙のジャポニスム

平成建設



切り絵画家 久保 修 KUBO Shu

1951年、山口県美祢市生まれ。大学建築科在学中に切り絵に出会う。ふるさと切手「隅田川花火・朝顔」、「深川八幡祭」、「天神祭」などに採用される。2009年度には、文化庁文化交流使に指名され海外へ活動の場を広げている。アメリカ、スペイン、ポルトガル、フィリピン、マレーシア、ウクライナ、ロシア、イラン、キューバ、トルコ、ジョージア、中国などにおいても展覧会を開催し、ワークショップやレクチャーなどの文化交流活動も行っている。2016年4月には、フィラデルフィア・ドレクセル大学より招請され、文化交流を行い、10月にはシンガポールにて展覧会と文化交流を行う予定。



飛騨古川 (岐阜) H24.3cm×W24.0cm



桜 H24.4cm×W24.0cm



ふるさとの海 H21.8cm×W38.7cm



伏見人形 H33.7cm×W22.5cm



らっきょうの花 H32.3cm×W47.4cm

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】 03-3426-1103

開館時間 10:00~18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

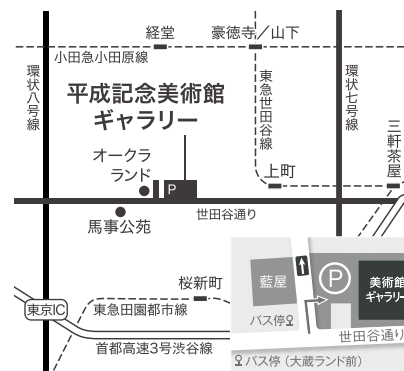
駐車場：全5台

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

【電車】 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【お車】 馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m

【バス】 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋谷24 (東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



次回展覧会

三田村 有純 漆芸個展「黄金幻想」

2016年10月25日(火)~11月25日(金)

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。